

【事例 H27-06-09】愛知県名古屋市

若者向け自殺対策事業:子ども・若者向けイベント「スマイルデーなごや」

子ども・若者が悩みを抱えた際の援助希求行動を促し、各相談窓口への理解を深めることで、自殺予防に繋げることを目的としたイベントを開催した。生活上の困難やストレスに直面し悩みを抱えた際の援助希求行動を促すため、「悩みを抱えたときには、周囲に援助を求めよう」というメッセージを発信した。また、子ども・若者を対象とした各種相談機関の参加により、周りにはたくさんの相談機関があるということを知ってもらう機会とした。さらに、イベントに先立ち「悩んだときに救われたひとこと」などをテーマとしたマンガコンテスト「スマイル!マンガコンテスト」を開催し、市立小・中学校への作品募集を兼ねた啓発など1日のイベントに留まらず長期にわたる啓発を行い、メッセージを発信した。

【実施主体】愛知県名古屋市

【大綱の分類】6. 社会的な取組で自殺を防ぐ①

【事業予算】平成26年度 10,066,000円

【利点】

- ▼「スマイル!マンガコンテスト」と連動することで、長期にわたる啓発が可能。
- ▼イベントを通じて、子ども・若者が楽しみながら相談窓口について理解を深めることができる。
- ▼子ども・若者だけでなく、学校関係者や保護者など幅広い層を巻き込むことができる。

【実施に至るまで】

【背景・必要性・理由の概要・等】

名古屋市における自殺者数は、平成10年の急増以降、400人~500人程度で推移しており、近年は増減を繰り返しながらも全体的には減少傾向にある。

しかし、若年層については、死因の第1位が自殺であるなど深刻な状況にあり、若年層における自殺の問題は深刻さを増している。このため、若年層を対象とした自殺対策の充実は重要な課題となっている。

【計画を立てる上での工夫・等】

会場について、初年度の平成25年度はクローズドの会場(市公会堂)とし、併せて1日相談会を開催したが、より効果的に多くの子ども・若者への啓発を行うため、26年度からは繁華街にあり子ども・若者が多く集まるオープンな会場(オアシス21)を使用している。

平成25年度は、その場で様々な分野の悩みを一度に相談できる相談会を実施したものの、子ども・若者にとってハードルが高かったのか相談件数が少なかったため、26年度からは各相談機関を知ってもらうことに内容をシフトさせた。

各相談機関を知ってもらう仕掛けとしてクイズラリーを企画し、来場した子ども・若者に各相談機関を理解してもらえるよう、各相談機関がクイズ問題を考えた。また、各相談機関を周

知るブースでは、クイズラリーの参加者に問題のヒントを伝える中で相談機関について説明したり、キャラクターの着ぐるみと触れ合う場とするなど、各機関が参加者と触れ合いながら理解を深めてもらう工夫を凝らした。

また、ステージでは、アテレコや効果音による演出により受賞候補作品の紹介を行い、著名人による審査と来場者による一般投票を行うマンガコンテストの最終選考会および表彰を行った。他に著名人が悩みを抱えたときには相談していいんだというメッセージを伝えるトークショーを行った。加えて、合間に各相談機関のPRタイムを設け、ステージ上でも各相談機関の周知を行った。

【具体的な内容・実施の過程】

▼「スマイル！マンガコンテスト」の並行開催

イベントに先駆けて、「悩んでいたときに救われたひと言」、「悩みを解決したエピソード」、「寄り添ってくれた人への感謝の気持ち」をテーマにしたマンガ作品を募集した。

従前の一般部門（ストーリー部門、コママンガ部門）、中学生部門（コママンガ部門）に加えて、平成28年度より小学生以下部門（コママンガ部門）を新設した。

作品募集チラシは、教育委員会と連携し、市立小学校5年生～中学校3年生（特別支援学校含む）の全児童・生徒へ配布し、応募を呼び掛けた。

部門		ページ制限	対象者	賞			
一般部門	ストーリーマンガの部	4ページ以上 8ページ以下	制限なし	最優秀作品賞	1名		
				優秀作品賞	1名		
				佳作	2名		
	コママンガの部			最優秀作品賞	1名		
				優秀作品賞	1名		
				佳作	2名		
中学生部門 ※コママンガのみ		1～4コマ (1ページ)	市内在住 または 在学者に限る	最優秀作品賞	1名		
				優秀作品賞	1名		
				佳作	20名以内		
				最優秀作品賞	1名		
小学生以下部門 ※コママンガのみ (平成28年度より 創設)						優秀作品賞	1名
						佳作	5名以内

応募作品は、本市職員による一次選考を経たのち、有識者を審査員とした二次選考で受賞作品を決定した（中学生部門、小学生以下部門のみ。一般部門は受賞候補作品を決定）。

「スマイルデーなごや」当日は、一般部門の受賞候補作品の中から、受賞作品を決定する最終選考会が行われ、来場者による一般投票と審査員による審査の結果、受賞作品を決定した。その後、全部門の受賞者に対する表彰式を開催した。

【成果】

イベントと併せてマンガコンテストを開催することで、作品募集を通じて、教育委員会と連携し

た小・中学生への啓発をはじめ、イベント当日の参加者に留まらず広く若者への啓発を行うことが出来た。

また、イベントへの参加準備を進める中で、関係各課及び各ブース出展相談機関（16 機関）、広報物提供相談機関（12 機関）との間で連携強化が図られた。

参加した各相談機関への実施後のアンケートでは、イベント来場者へ直接相談機関の案内をすることが出来たこと及び各相談機関同士顔の見える関係づくりや情報共有ができたことが大変好評だった。

【補 足】 情報なし

【課 題】

- ・地元アイドルのライブステージで多くの若者が集まるが、ステージイベントが終了すると帰ってしまう若者もいるため、いかに相談機関PRコーナーへ関心を持ってもらえるかが課題である。

【事業種別】 対面型相談支援事業

【準備期間・人数】 6か月・5名

【予防段階】 0次予防

【自治体規模】 人口 約 228 万人（平成 26 年） 財政規模 1 兆 574 億円（平成 26 年度）

【自治体負担率】 総事業費の 3 分の 1（愛知県地域自殺対策強化事業費補助金により、交付率が総事業の 3 分の 2 であるため）

【事業対象】 若年者

【支援対象】 若年者

【実施主体・問合せ先】 名古屋市健康福祉局障害福祉部障害企画課

TEL 052-972-2283

E-mail: a2283@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp